

かかみがはらの埋文

各務原市埋蔵文化財調査センターだより 第7号



熊田山北古墳群発掘調査風景
(2頁に関連記事)

歴史を綴る

昨年度は熊田山北古墳群の発掘調査を行ない、1号古墳から千数百個のガラス小玉や素環頭大刀そかんとうたちが見つかりました。ガラス小玉は一つひとつ丁寧に水洗いを行ない、一部は勾玉まがたまと合わせて首飾りとして想像復元し、展示収蔵庫で一般公開をしています。大刀は後世まで伝えていくための保存処理を施しているところです。

その熊田山北古墳群を今年度も継続して発掘調査しています。しかしながら、昨年度のように誰が見ても素晴らしいと思うものは何一つ見つかりません。ただひたすら泥にまみれて土を掘り起こす作業が、寒い中続いています。昨年度と比べるとかなり地味に感じられますが、今年度行なっていることも昨年度の成果もどちらも各務原の歴史を綴るための底辺の作業なのです。この底辺の作業こそ、各務原の歴史を考えていく上で重要なのだと考え、これからも発掘調査業務を進めていきたいと考えています。

各務原市教育長 浅野 弘光

熊田山北古墳群

熊田山北古墳群は、熊田山(野口山)の北麓に所在する古墳群です。5世紀末から6世紀の群集墳(1箇所に古墳が集中して造られること)といわれ、かつては30基以上の古墳があったと伝わっています。しかし開発によって多くの古墳が破壊され、現在では数基の古墳を残すのみとなりました。平成9年度の熊田山北古墳群発掘調査では、1号墳より1700個以上のガラス玉や銀装飾を施した素環頭大刀などが出土し、内外からの注目を集めました。

平成10年度の発掘調査は、昨年度の調査区の東隣、647㎡について行なわれました。

昨年度と同様、市道の新設工事にさきがけた発掘調査で、前回の発掘区東隅で遺構の一部が確認されていた4号墳の継続調査、および北側に元あった墓地によって一部削平を受けた5号墳、6号墳の調査となります。

今年度調査の古墳の存在については、昭和8年の古墳分布調査において確認されていましたが、現在熊田山の北斜面は削られ、宅地として造成されていきました。調査の結果、亡骸を納めた古墳の墳丘は削りとられていること、古墳を



5号墳周濠より出土した土師器

取り囲んでいた円形の溝(周濠)はよく残存しており、その位置は昭和8年の分布調査の結果にほぼ一致することがわかりました。分布調査によれば、現在は破壊されて多くが失われましたが、熊田山山頂から北麓全域に古墳が広がっていたようです。



割れた状態で出土した須恵器壺(5号墳周濠)

周濠は、古墳に関する重要な情報を提供してくれます。周濠から推定すると、各古墳の直径は4号墳約12.5m、5号墳約11.0m、6号墳約13.5mで、いずれも昨年度遺物が多く出土した1号墳よりも小さめです。また周濠の中からは、割れた状態で一箇所に集中して出土した土器の破片や、何かを燃やした跡と思われる穴が確認されました。死者を弔う追善供養のようなことが、古墳の周りで行なわれたのかも知れません。当時の墓制や祭祀などを考える上で、非常に興味深い発見であると言えるでしょう。

本年度をもって市道建設にともなう熊田山北古墳群の緊急発掘調査は終了します。残存状態は悪かったものの、2年間の発掘調査を通じて、各務原市の古墳時代を明らかにする多くの成果を得ることができました。現在埋蔵文化財調査センター展示収蔵庫では、出土遺物の解説展示を行っています。ぜひ一度ご観覧ください。

鵜沼古市場遺跡B地区

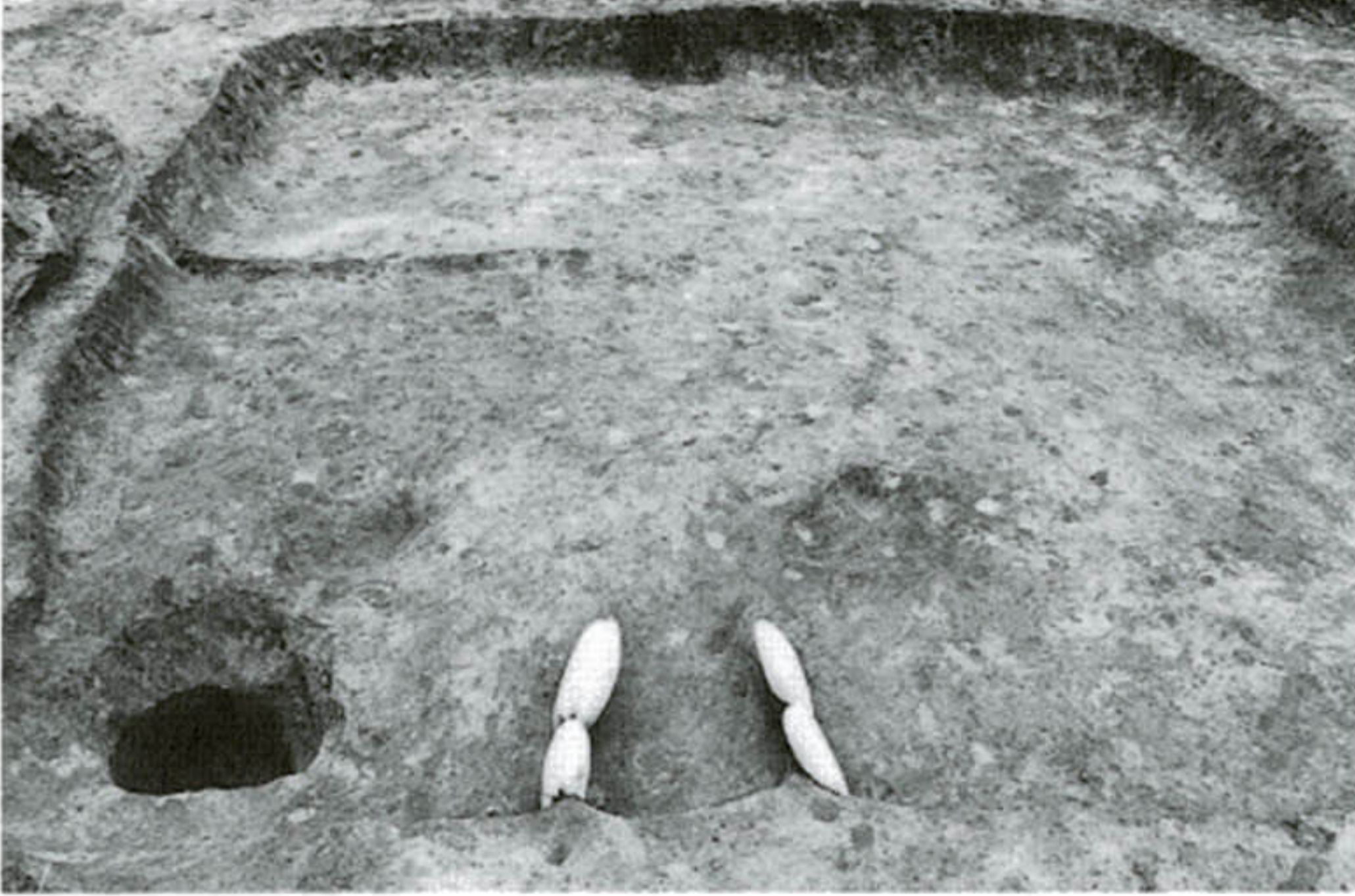


写真1 竪穴住居跡

鵜沼古市場遺跡は、大安寺川河口周辺の鵜沼古市場町・鵜沼南町一帯に広がる遺跡で、縄文時代から近世に至るまで、幅広い時代の先人の足跡が残る遺跡です。

平成6年度に調査を行なったA地区は、鵜沼南町4丁目地内の約500㎡が調査対象となりました。中世の大溝や床と壁を川原石の積み上げによって作った地下貯蔵庫のような施設が見つっています。遺跡の近辺では、中世に鎌倉街道と呼ばれる主要交通路が通っていたと言われ、調査で見つかった遺構が、鎌倉街道沿いの街並の一角である可能性も考えられます(既刊)。

今回発掘調査を行なったB地区は、鵜沼古市場町3丁目地内の畑地83㎡で、6世紀後半から7世紀にかけてのものと考えられる住居跡1軒が見つかりました(写真1)。住宅密集地のなかにながら残存状態も良く、貴重な成果をあげることが出来ました。

この住居跡は一辺が約5.4mの正方形をなし、北側にカマドを備えています。その周辺には、カマドにかけて使っていたと思われる土師器の甕が見つっています。住居跡の北東隅は遺物

が多く、須恵器の提瓶、土師器の甕などが見つっています。カマドの隣には、深さ約70cmの貯蔵穴があり、この中から完全な形の土師器の甕が見つかりました(写真2)。



写真2 遺物出土状況

鵜沼古市場遺跡の所在する「鵜沼」の地名は、古くは「己亥年(699年)九月…」の日付が記された藤原宮跡出土の木簡に見ることが出来ます。木簡の裏面には「汗奴麻里…」とあり、これが現在の鵜沼に当たると考えられています。

古市場遺跡では、これまでにも古墳時代終わり頃の焼き物はいくつか見つかりましたが、今回の発掘調査で、実際に当時の住居跡が存在していることが確認されました。住居はおそらく他にも何軒かが集まって集落を形成していたと考えられます。後の「汗奴麻里」につながる集落が、この時期より形成されていたことを物語るものです。

古代の美濃には、地方と都とを結んだ主要官道のひとつである東山道が通り、各務原もその沿線上にありました。現在の鵜沼地区にも、中継所である各務駅が置かれていたと言われています。今回見つかった住居跡は、東山道との関連を考える上でも重要な資料となりそうです。

まが玉づくり

第3回 夏休み親子体験教室

平成10年8月8日(土)に、各務原市中央図書館4階の第1研修室を会場として、第3回夏休み親子体験講座「まが玉づくりに挑戦」教室を開催しました。

当日は親子22名の方々が参加され、古代とおなじく滑石という石を材料として、まが玉や管玉、白玉、あるいは切子玉などの古代の装身具づくりに取り組まれました。

ひとつひとつは小さな玉類ですが、自分のイメージどおりの形に仕上げるのは難しかったようです。それでも講座の終了時間が近づくころには、各自、思い思いのまが玉が出来上がり、参加者の間からは歓声が上がっていました。

参加者感想文(一部抜粋)

昔の人になった気分で、おもしろかった。一こ作るにも大変だった。(遠藤瑤子・那加一小)

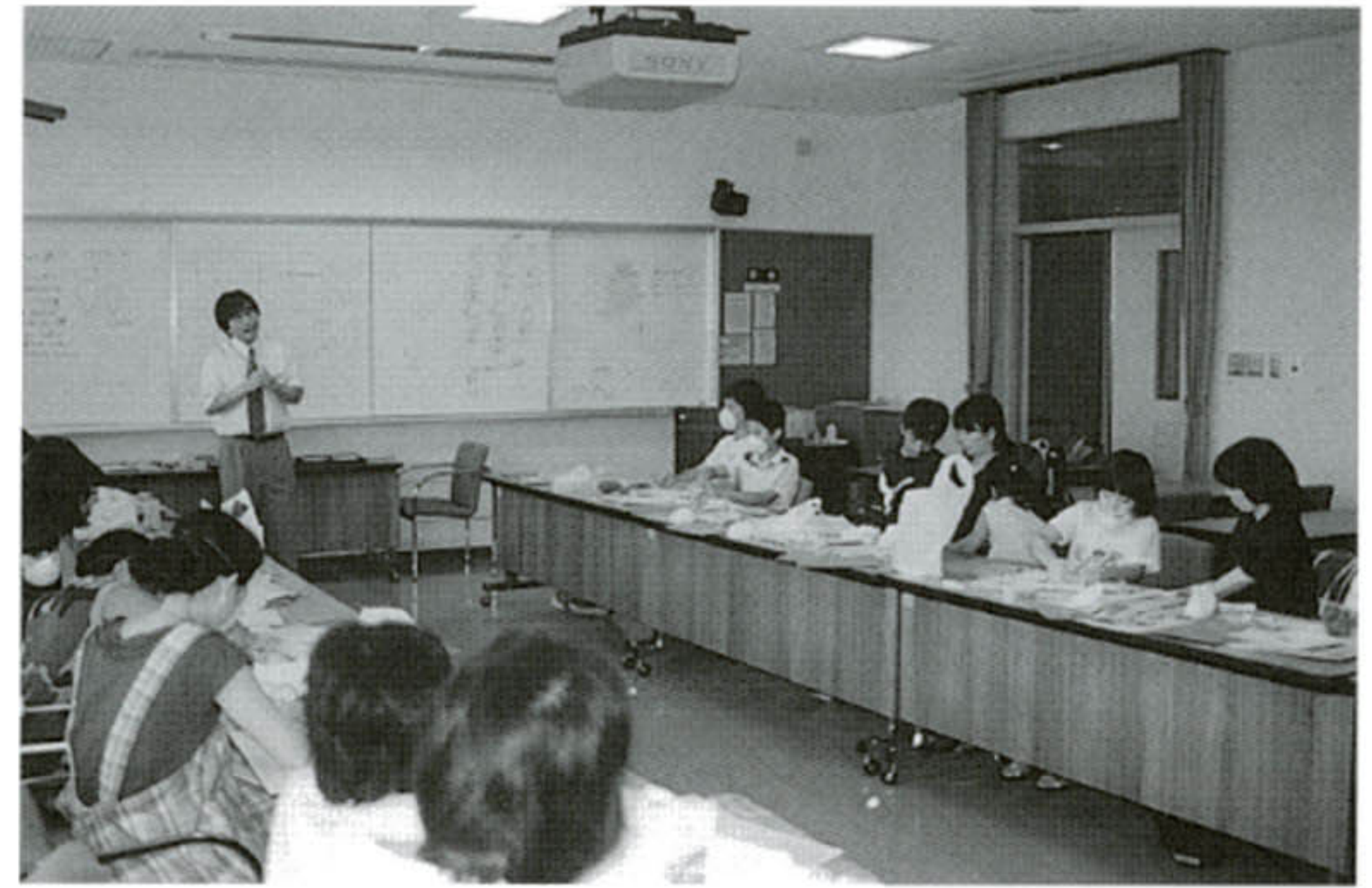
少しずつ形ができていくのは楽しかったです。(遠藤はるみ・母親)

今日は思い出になる一日でした。とてもおもしろかったです。(河内山美千穂・母親)

きれいなものがたくさん作れてよかった。(北折 愛・鶴沼三小)



まが玉づくり作業風景



解説風景

また、機会があったらぜひ参加したいと思います。(北折美紀・母親)

お母さんができない所を手伝ってくれたりしたからうれしかった。(中濱佳美・鶴沼三小)

今回は歴史の好きな娘と古代体験を共にできて、楽しかったです。(中濱和美・母親)

手が痛くなったりしたけどがんばって作ったので宝物になりました。(林下愛未・八木山小)

娘に玉を一ケもらって自分の身につけてみたいと思います。(林下定子・母親)

石にキリで穴をあけるのがたいへんだった。(増島 歩・蘇原一小)

手作りのまが玉が出来てとてもうれしかった。(増島健三・父親)

いい記念になってうれしいです。またあったらやってみたいです。(二宮 諒・稲羽西小)

子供も私も楽しんで作る事ができ、とても有意義な時間をもてました。(二宮成子・母親)

*参加されたみなさん、大変ご苦労様でした。また機会がありましたらお会いできる日を楽しみにしています。(埋文センター一同)

新刊報告書の案内

前渡猿尾堤第3調査区発掘調査報告書

江戸時代につくられた川の堤防施設の一つである猿尾堤は、いわば堤防を守るための堤防とでも言うべきもので、かつて木曾川の中流から下流にかけて多くみることができました。しかし、明治以降の近代的河川改修事業の進展によってその役割を終え、次第にその姿を消しつつあります。

市内前渡西町に所在する前渡猿尾堤は、過去、平成2年にすでに発掘調査が行なわれていますが、今回は県道拡幅工事に伴う緊急発掘調査として実施したものです。

三ツ塚遺跡A地区発掘調査報告書

鶴沼羽場町の市道沿いの畑には、3基の塚があります。塚に立てられた石碑から、16世紀に鶴沼城の城主であった大澤氏を供養する塚であると考えられます。市道拡幅に伴い、削られる部分について調査を行ないました。

蘇原東山遺跡群発掘調査報告書

-(仮称)須衛・持田住工団地造成に伴う発掘調査-

昭和60年から平成2年にかけて、市内蘇原持田町・須衛町にまたがる持田東山地区において、(仮称)須衛・持田住工団地造成に伴う緊急発掘調査事業を行ないました。

総面積約33万㎡の丘陵上に、縄文時代早期から前期にかけての竪穴住居跡および蒸し焼き調理用と考えられる礫群、弥生時代後期の墳丘墓、古墳時代後期初頭の円墳、古墳時代終末期の方墳と小型横穴式石室墳、そして平安時代中期の灰釉陶器窯跡や室町時代の積石塚など、数多くの遺構が検出されました。

従来、窯跡と古墳以外に知られることの少なかった山地丘陵部において、縄文時代から古代・中世におよぶ遺構が確認されたことは、各務原地域の歴史と文化を考えるうえで重要な資料となります。

リーフレットの刊行

天狗谷遺跡

美濃須衛古窯跡群の中核的窯跡のひとつである須衛天狗谷遺跡は、昭和59～60年にかけて発掘調査を行ない、奈良時代の須恵器窯跡8基を中心として、古墳時代終末の小型横穴式石室墳2基、平安時代後期の灰釉陶器窯跡1基など、約400年間におよぶ窯業生産の内容が明らかにできました。また、平成9年度には発掘調査報告書が刊行されており、文化財保護と古代史研究の基礎資料としても活用されています。

村雨町遺跡A地区

各務原台地に小さく入り込んだ谷地形の南斜面にのこされた、奈良時代末頃の住居跡が1軒見つかりました。

出土遺物や遺構から、作業場的な住居であった可能性が考えられます。集落はこの住居跡を含む台地突出部を中心としていたと考えられます。端にあたる場所にこのような住居が見つかったことから、周縁部に作業場的な施設が作られるという当時の集落のひとつの形を考えることができるかもしれません。

出土遺物保存事業

遺跡から出土した遺物は、できるだけ早い時期に適切な処理を施さなければ、いずれ朽ち果ててしまいます。土中から掘り出したとたん、その輝きは色あせ、保存はおろか計測もままなりません。木簡などの木製品は特に顕著で、乾燥するとその形はゆがみ、水に漬けて保存しても、墨で書いた文字などは見る見るうちに肉眼で観察できなくなっていくます。

埋蔵文化財調査センターでは、発掘調査で出土したもののうち、木製品や金属製品など、劣化が著しいものについて、科学処理によって劣化の進行を防いでいます。またこうした処理を行なうことによって、出土した状態そのままでは確認しづらい、遺物の細かな観察も行なうことができます。

本年度は熊田山北古墳群から出土した、素環頭大刀ほか27点の鉄器類の保存処理を行なっています。大切な文化財をより良い状態で、長く伝えていくこともセンターの重要な事業のひとつです。



熊田山北古墳群出土 素環頭大刀(処理前)

日誌抄 (1999, 2 現在)

◆見学・来訪

- 5/ 1 川島町文化財審議委員視察
- 5/ 7 尾崎小学校3年生(79名)見学
- 5/13 縄文土器勉強会(4名)見学
- 5/28 那加第一小学校3年生(100名)見学
動く市民教室(27名)見学
- 6/10 保育所保護者会
動く市民教室(市自治会連合会26名)見学
- 6/16 宮川村教育委員会職員(小島氏他2名)来訪
- 6/24 鶴沼第二小学校(106名)見学
- 6/25 県文化課・文化財保護センター職員(松野氏他2名)視察
- 7/16 県文化財保護センター職員来訪
- 7/22 動く市民教室(青雲町子供会26名)見学
- 8/ 5 動く市民教室(夏休み親子教室30名)見学
- 8/27 岐阜大学早川助教授来訪
- 10/13 鳥取県倉吉市市議会議員(16名)来訪
- 10/15 川辺東小学校6年生(37名)見学
緑苑小学校2年生(62名)見学
- 10/16 中央中学校まなびすと講座(16名)見学
- 10/29 犬山南小学校2年生(89名)見学
- 10/30 動く市民教室(25名)見学
- 11/ 1 図書館体験講座(2名)見学
- 11/12 敦賀市職員(2名)視察
市教頭会見学
- 12/ 4 岐阜市はつらつボランティア講座(100名)
熊田山北古墳群現場見学
- 12/10 江南市生涯学習課(中村氏・駒田氏)来訪
- 12/17 江南市生涯学習課(駒田氏)熊田山北古墳群現場見学
- 1/ 7 美濃市教育委員会(教育長他2名)視察
- 1/10 岐阜市教育委員会内堀氏他3名来訪

◆資料等実見・貸出

- 8/ 6 県史編纂委員(岡戸氏)資料調査
- 8/12 県史編纂委員(児玉氏)文字資料調査
- 8/27 岐大早川助教授, 群馬県教育委員会(高島氏)文字資料実見
- 8/28 関東古瓦研究会(15名)古代寺院資料実見
- 9/10,11 県史編纂委員(児玉氏)文字資料写真撮影
- 9/27 奈良女子大学(広瀬教授), 一宮市博物館(久保氏)遺物実見
- 10/24 早稲田大学新川教授, 岐阜聖徳学園大学清田教授,
岐大早川助教授
「釈注日本史料」編集委員(14名) 須恵器実見
- 1/14 可児市教育委員会(吉田氏)陶馬写真撮影
高浜市かわら美術館(天野氏)山田寺瓦実見
- 2/10 岐大早川助教授, 藤沢市教育委員会(荒井氏)須恵器実見
- 2/17 可児市教育委員会(長瀬氏)陶馬貸出し
- 2/20 富山大学宇野教授, 愛知県埋蔵文化財センター(赤塚氏)
遺物実見
- 2/24 (財)県文化財保護センター(藤田氏)須恵器実見
- 2/25 東京都埋蔵文化財センター(鶴間氏)遺物実見

◆職員派遣・指導鑑定等

- 6/10 古代史同好会見学会 市内遺跡説明(坂井)
- 7/1~2 長野県埋蔵文化財センター 須恵器鑑定(渡辺)
- 7/1~7/15 奈文研研修「寺院遺跡調査課程」(戸崎)
- 7/ 7 (財)岐阜市教育文化振興事業団 出土遺物指導(渡辺)
- 7/18 平成10年度岐阜県発掘調査報告会 事例発表(大熊)
- 8/ 5 (財)岐阜市教育文化振興事業団 出土遺物指導(渡辺)
- 9/16 古代史同好会見学会 他市町村遺跡説明(戸崎・坂井)
- 1/12 池田町教育委員会 出土遺物鑑定(渡辺)
- 2/15 (財)県文化財保護センター 作業実技講習講師(大熊)
- 2/16 (財)県文化財保護センター 出土遺物鑑定指導(渡辺)
埋蔵文化財同好会「かかみの」見学会 資料館解説(戸崎)

編集後記

今年度もあと残りわずか、残務と新年度の準備に楽しい毎日です。お陰様でセンターだよりも第7号となり、月日が経つのは早いものだと実感しています。(T)

〈埋蔵文化財調査センターのご案内〉

開館時間：午前10:00～午後5:00

休館日：毎週月曜日・祝日・年末年始および
市教育委員会の定める日
(祝日が月曜日の場合は火曜日も休館)

交通：名鉄各務原線市民公園前駅下車徒歩一分
入館料：無料

駐車場：右図参照(JRと名鉄の間)

各務原市埋蔵文化財調査センターだより 第7号

(平成11年3月)

編集 各務原市埋蔵文化財調査センター

発行 〒504-0911 岐阜県各務原市那加門前町3-1-3

TEL 0583(83)1123 FAX 0583(71)1145

